

# 「GLOBAL 2020 VISION」について

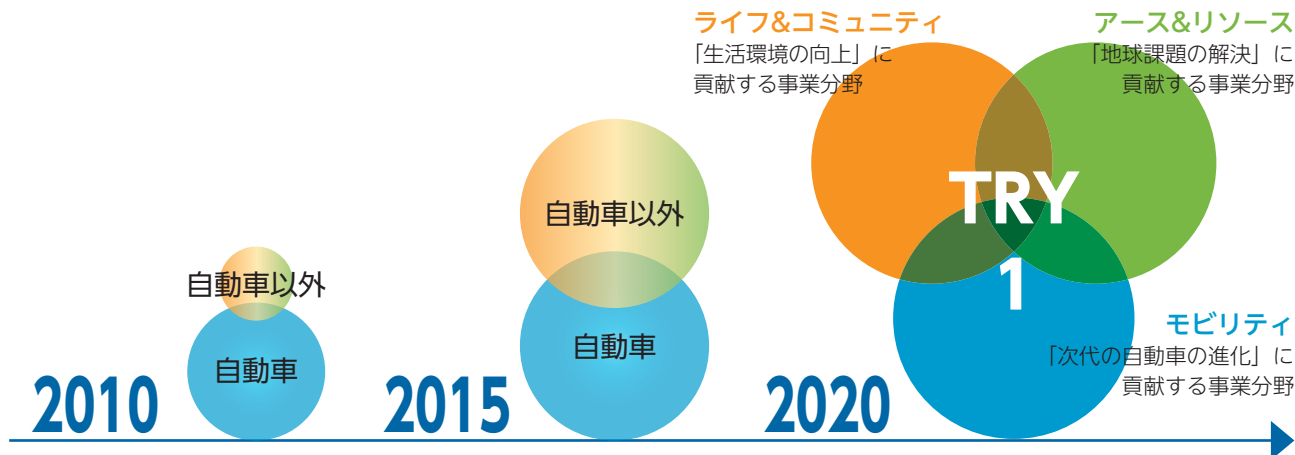


豊田通商グループでは、恒久的に変化しない「基本理念」を頂点に、その基本理念を追求・実現し続けるために、10年後までに到達すべき明確な目標・道しるべとして「ビジョン」を策定し、グループ全員が共有し、その実現に向けて取り組んでおります。

2006年に策定した「VISION 2015」の実現に向けて着実に取り組んでまいりましたが、従来では想像もつかないほどのスピードで変化する環境に対応するために新たな価値創造が必要と考え、次なる10年を見据え

た「GLOBAL 2020 VISION」を2011年に策定しました。

「VISION 2015」で掲げた「自動車：自動車以外＝50：50のバランスのとれた経営」という到達点を更に発展させ、自動車分野を「モビリティ分野」と再定義するとともに、自動車以外の分野を新たに「ライフ＆コミュニティ分野」と、「アース＆リソース分野」の2つに定義し、今後当社が注力していく成長分野と位置づけました。



当社グループのコア分野であるモビリティ分野は、「次代の自動車の進化」に貢献する事業分野、ライフ&コミュニティ分野は、「生活環境の向上」に貢献する事業分野、アース&リソース分野は「地球課題の解決」に貢献する事業分野として、経営資源を有効かつ効率的に活用して最大限の成果を上げてまいります。

当社グループの強みや特徴を活かしながら、注力する3つの分野の重なる部分を大きくしていくこと、そこから波及してそれぞれの分野を大きくしていくことで、事業領域を拡大し、第二・第三の柱を育ててまいります。

具体的な取り組みとして、「モビリティ分野」については、これまで培ってきました物流、加工等の機能を更に強化するとともに、自動車の技術革新に対応するため、新素材や新技術の開発に取り組み、また、成長する新興国での自動車小売事業の拡大にも注力してまいります。

「ライフ&コミュニティ分野」では、健康や医療、保

険、食品といった生活に直接関連する事業、燃料としてのバイオエタノール、素材としてのバイオプラスチック、エレクトロニクス等、他の分野と重なり、成長が見込まれる事業に、また、電気自動車との関連で発展が期待されるスマートグリッドや都市システム開発にも取り組んでまいります。

「アース&リソース分野」では、自動車に関連するレアアースやリチウム事業、自動車を中心としたリサイクル事業、新興国を中心に、医療用として需要拡大が見込まれるヨード事業といった、従来から手掛けて当社の強みを発揮できる事業を強化してまいります。更には、天然ガス開発、インフラ整備事業、再生可能エネルギー、エネルギー資源、食料資源にも取り組んでまいります。

ビジョン実現へ向けた取り組みに対し、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。